

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

平成 28 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	軽井沢・きき取り物語 ～じいばあからの贈り物
団体名 (連絡先)	軽井沢・きき取り物語実行委員会 (0267-45-3818 工藤)
総事業費	137,523円 (うち補助金: 68,000円)

事業内容

本事業は活動開始から 2 年経過した。平成 29 年度完了を目指し、町内のお年寄りの記憶や知恵など、地域に埋もれている「無形の宝物」を「くらしの歴史」としてきき取り、今後の町づくりに役立て、将来の世代に引き継ぐことを目的としている。平成 28 年度は新規 2.4 名の方からきき取りが出来た (累計では延べ 6.4 名)。又、リーフレット及び動画 (プロトタイプ) を完成し、広報に有効活用した。さらにきき取り風景や伝統行事の録画撮りを実施した。



【 どんど焼き (遠近宮) 】

事業効果

目標を上回る方からきき取りができた。伝統行事は御神楽、十日夜、繭玉づくり、など 6 件録画でき、さらに動画 (プロトタイプ) についてユーチューブで配信できた。軽井沢中学生 (2.0 名) を対象に、福祉教育体験学習の一環として“昔の暮し”をお年寄りの方に語って貰い、この様子を軽井沢新聞 (11 月 10 日付け) で紹介して貰った。この他にも中部小 3 年生 (1.0 名)、分館長連絡会委員 (1.6 名)、新軽井沢地区民 (3.0 名) の方達にも“昔の暮し”を語った。2 年経過して少しずつ活動が広がってきている。

【目標・ねらい】

- きき取り対象者 平成 27 年度、28 年度累計で延べ 6.0 人
- リーフレット作成
- PR 用動画作成
-

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

きき取りが不十分な地区についてきき取りを継続し、この記録と今迄の記録を元に本にまとめる。更に動画を DVD 化し、これら本及び DVD を使って町内全般に広報しながら昭和 2.0 年前後の頃の軽井沢における“昔のくらし”を伝承する。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。